

<水稲の栽培ポイント>

生育状況

6月中旬に移植した「とちぎの星」の出穂期は8月中旬頃（前年並からやや遅い）となりました。気象庁の3か月予報（9月18日発表）によると、収穫時期を迎える10月の天気は数日周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されています。また、気温は高い確率が50%、降水量は平年並み確率が40%と予想されています。

本年は出穂期以降、秋雨前線による長雨、日照不足が続いているため、収穫時期が前年に比べ遅くなる可能性があります。今後の生育状況、天候に十分注意して刈取り準備を行い、適期に収穫できるようにしましょう。

1 刈取り準備

- ・コンバインや乾燥調製機等の清掃・整備を行い、異種穀粒・異品種の混入が無いようにしましょう。きちんと掃除したつもりでも、機械の中にはゴミが驚くほど残留していることがあります。
 - ・圃場内の雑草は刈取り前に抜取り、雑草の種子が混入しないようにしましょう。
- ライスセンターでは雑草種子などの夾雑物の多いものについては荷受をお断りする場合があります。

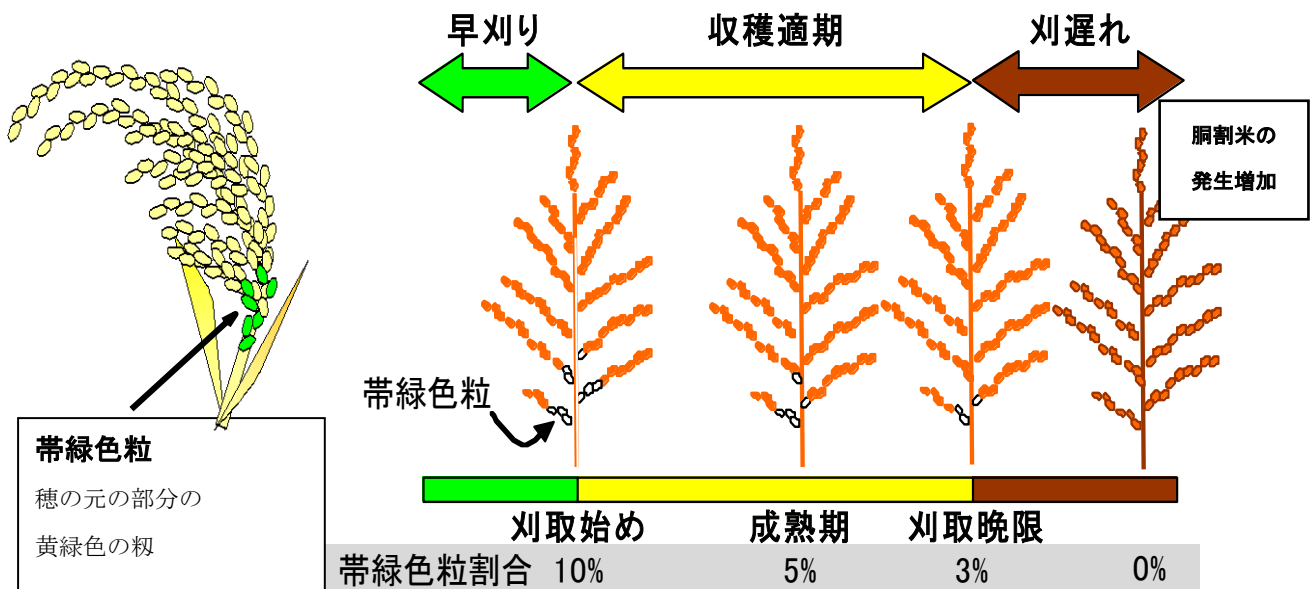
2 適期収穫

収穫作業は、帯緑色粒率が10%になったら開始し、3%になるまでに終了しましょう。

刈り遅れの無いよう注意してください。刈り遅れると胴割米の発生、色沢・品質・食味の低下、倒伏や穂切れによる減収を招きます。また早刈りは青米が多くなり減収となりますので注意しましょう。

【刈取適期の判定方法】

- 平均的な生育をしている数か所で5～6本の穂をまとめて握ります。
- 穂全体に占める帯緑色粒の割合で判定します。10%から刈り始めましょう。



3 新規需要米について

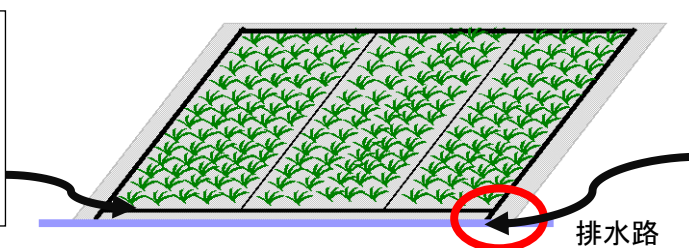
新規需要米についても、主食用米と同様に早めの刈取り準備、圃場内の雑草の抜取りを行いましょう。

＜麦類の栽培ポイント＞

麦は全栽培期間を通じて湿害を受けやすい作物です。湿害対策等の基本技術を徹底し、高品質麦の生産に取り組みましょう。

1 湿害対策の徹底

- (1) 播種直後は湿害に特に弱いので、稲刈り後の弾丸暗きよによる早期の排水性向上が有効です。スタブルカルチ等を活用した心土破碎も圃場の排水性を良くします。
- (2) 地表水の排水のための明きよを設置します。明きよは必ず圃場外の排水路とつなげてください。



2 土づくりと施肥

- (1) 地力増進のため、良質な堆肥を 10a 当たり 1,000kg 程度施用しましょう。また、土壌診断を行い、診断結果に基づいて苦土炭カル、ようりん、OM-37 等を施用し土壌改善に努めましょう。
- (2) 令和 8 年産の成績に応じた施肥設計をしましょう。タンパク質含有率が低い場合は、肥効調節型肥料（BB 麦専用麦の香、BB とちぎ麦専用 500 等）を使用しましょう。

3 適期播種・種子消毒

【播種期間の目安】 ビール大麦・小麦：11月10日～25日

（近年は暖冬傾向のため、適期の後半（11月20日頃）の播種がよい）

もち絹香：11月10日～15日

気象庁の季節予報（1か月、3か月、寒候期予報）を参考にして播種時期を決めましょう。

大麦斑葉病や小麦なまぐさ黒穂病などの種子伝染性病害予防のため、**種子消毒を必ず実施**しましょう。

（例：ベンレートT水和剤 20、ベフラン液剤 25）

4 雑草防除

播種後に除草剤の全面土壌処理を行います。

令和 8 年 9 月 11 日時点での登録内容

雑草の種類	除草剤名	作物名	使用時期	
一年生雑草	ボクサー	大麦	秋播栽培のは種後～麦 2 葉期（雑草発生前～発生始期）	※注 1
		小麦	秋播栽培のは種後～麦 2 葉期（雑草発生前～発生始期）	
			秋播栽培の麦 2～4 葉期（雑草発生前～発生始期）	
	リベレーターフロアブル	大麦（秋播栽培）	は種後～麦 3 葉期（雑草発生前～イネ科雑草 1 葉期まで）	
		小麦		
	リベレーターG	大麦（秋播栽培）	は種後～麦 2 葉期（雑草発生前～イネ科雑草 1 葉期まで）	
		小麦（秋播栽培）		
一年生雑草（ツクサ科、カツリガサ科、ヤブ科、アザミ科を除く）	ムギレンジャー乳剤	大麦	秋播栽培のは種後出芽前（雑草発生前）	
		小麦		
		麦類（小麦を除く）		
一年生雑草（ツクサ科、カツリガサ科、ヤブ科、アザミ科を除く）	トレファノサイド乳剤	小麦	は種後出芽前～生育期（雑草発生前～雑草発生始期） 但し収穫 45 日前まで	
		小麦		

※ボクサー・リベレーターフロアブル・リベレーターG・ムギレンジャー乳剤は、抵抗性スズメノテッポウに効果を発揮します。

※農薬を使用する際は、ラベルや袋に表示されている使用基準や使用上の注意事項を必ず確認してから使いましょう。

※注 1）希釈水量に注意してください。